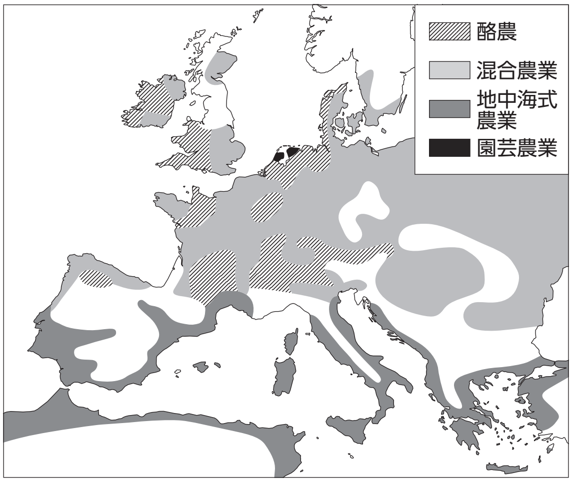
# 第 17 講 【地誌編】ヨーロッパ，ロシア・極圏
# PART 2 ヨーロッパの農業，工業・第三次産業

## Chapter 1　ヨーロッパの農業

目標
ヨーロッパのおおまかな農業区分を理解しよう。
共通農業政策が開始された当時の政策内容を理解しよう。

### 1　ヨーロッパの農業区分

・古代ヨーロッパで，耕地を二分割して**耕作**と**休閑**（家畜飼育）を交互に行う**二圃式農業**が始まった。
・中世には，耕地を**三分割**する**三圃式農業**に発展。
・近代に入り，〔　　　　　　　　　〕に発展し，**酪農**や**混合農業**が開始された。



ヨーロッパ周辺の農業区分

＜ヨーロッパの商業的農業＞

| 農業形態 | 説明 |
|---|---|
| 〔　　　　〕 | ・〔　　　　〕沿岸を中心としたヨーロッパ北部。かつて**大陸氷河**に肥沃な土壌を削られたため，やせた土地が広がり，穀物栽培に適さない。<br>・牧草地として主に利用され，**乳牛**の飼育と**乳製品**への加工を行う。製品は，近隣の大消費地（都市）へと出荷される。 |
| **混合農業** | ・**フランス**や**ドイツ**などヨーロッパ中央部。<br>・〔　　　　〕や**飼料作物**の栽培と，〔　　　　〕**飼育**を有機的に組み合わせる。**ポーランド**では**ライ麦**と**ジャガイモ**の輪作と，**豚**の飼育が見られる。 |
| **地中海式農業** | ・スペインやイタリア南部などの**ヨーロッパ南部**では，夏の乾燥に耐えうる樹木栽培（**ブドウ**や〔　　　　　　　〕）が行われる。<br>・冬には降水を活かし，〔　　　　〕の栽培が行われる。<br>・ヤギや羊などの家畜飼育を伴うことも多い。 |

＜特徴的な農業が行われる国＞

| 国 | 農業の特徴 |
|---|---|
| **オランダ** | ・狭い国土を有効に使い，**土地生産性**が特に高い農業が営まれる。<br>→**花卉**や野菜を集約的に栽培する〔　　　　〕**農業**。<br>→**ポルダー**と呼ばれる〔　　　　　　〕を利用した，**酪農**。<br>・ただし，穀物自給率は極めて低く，小麦などは輸入に依存している。 |
| **スイス** | ・山岳国であり，**酪農**の一種である〔　　　　〕が行われる。<br>→夏は高所にある牧草地（**アルプ**）で牛などの家畜を放牧し，冬は山麓の畜舎で飼育する。 |
| **ハンガリー** | ・かつての大陸氷河の範囲の外側に位置し，肥沃な風積土〔　　　　〕に恵まれる。<br>・**ドナウ川**に沿う**ハンガリー盆地**では，小麦やトウモロコシが栽培される。 |

## 2　ヨーロッパの共通農業政策

・ヨーロッパでは，域内農業の保護と育成のため，1960 年代より〔　　　　　　　　　　〕が実施されてきた。

→**域内の関税撤廃**と，**共同市場の運営**を目指す政策。

→〔　　　　　　　　〕を設定し，農産物の価格が下落した際には，EU が買い支えを行う（**価格支持制度**）。域外から輸入される農産物への**輸入課徴金**を設定。輸出を行う際には，**輸出補助金**の準備。

・その結果，**食料自給率**は上がったが，**小麦**や**乳製品**の生産は過剰傾向となった。

→ EU の農業関連支出が増大し，財政を圧迫。

→ 2000 年代以降 EU に加盟した**東ヨーロッパ諸国**には生産性の低い農家が多く，さらに支出が増大。

・現在は共通農業政策は見直され，農家に個別に**補助金**を支払う制度に転換されている。農業機械の導入などが容易となり，各農家の生産性は向上した。

**まとめ**　北部で酪農，中部で混合農業，南部で地中海式農業が行われている。
農産物に統一価格を設定，域外からの輸入農産物には輸入課徴金を課す。

# Chapter 2　ヨーロッパの工業・第三次産業

目標
ヨーロッパで，1970 年代に起こった工場立地の変化の背景をとらえよう。
現代ヨーロッパの産業の特徴を理解しよう。

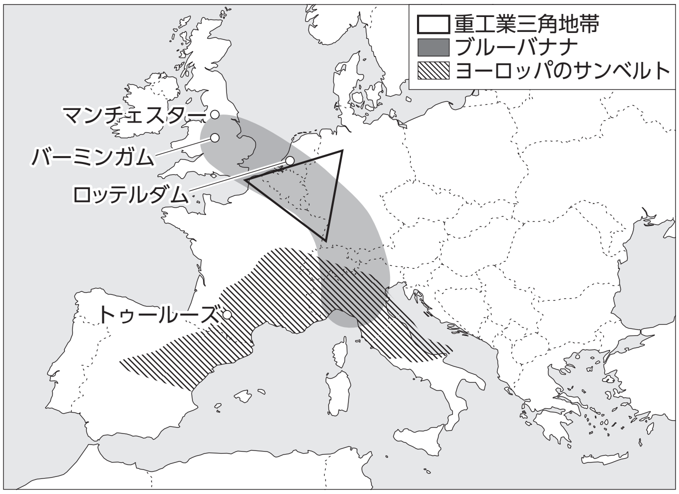
## 1　ヨーロッパの工業のあゆみ

1. 産業革命～地域の重工業化

・18 世紀後半，**イギリス**で〔　　　　　　　　〕が起こる。
　→**マンチェスター**などで，輸入**綿花**を原料とした〔　　　　　　〕の大量生産が開始。
　→**バーミンガム**など，**石炭**や**鉄鉱石**などの資源産地を中心に，〔　　　　〕生産が増加。
・次第に大陸部でも工業化が進展し，第二次世界大戦後には〔　　　　　　〕地方（**ドイツ**）・〔　　　　　　　　〕地方（**フランス**）を中心として鉱産資源を活かした**「重工業三角地帯」**が発展していった。

2. 臨海部の工業化

・1970 年代には，**エネルギー革命**や資源産出量の減少などにより，**工業地域の立地変化**が起こる。原料の輸入に適した〔　　　　　　〕で，新しい工業地域が形成された。
　→イギリスでは**カーディフ**，フランスでは〔　　　　　　　　　　〕に**鉄鋼業**の中心が移動。イタリア南部の港湾都市**タラント**に製鉄所がつくられた。
　→国際河川である〔　　　　　　〕**川**の河口（ロッテルダム）には人工港の**ユーロポート**が建設され，**石油化学コンビナート**がつくられた。




ヨーロッパの工業地域

## 2　現代のヨーロッパの産業

・現在では，「〔　　　　　　　　　　〕」を中心に，各種産業が集積。EU 内で国家間の**分業体制**による工業生産も実施されている。
　→〔　　　　　〕産業においては，ヨーロッパ各地でつくられた部品がフランス南部〔　　　　　　　　　〕の共同工場へ送られて組み立てられる。
・東ヨーロッパや地中海沿岸に工業地域が拡大する一方で，西ヨーロッパを中心に**脱工業化**が進む。
　→**ルール地方**では〔　　　〕**業**に代わり，**先端技術産業**の研究施設が林立。**ロンドン**や**パリ**の近郊にも**先端技術産業**が集積している。

＜現代ヨーロッパの主な産業地域＞

| 地域 | 説明 |
|---|---|
| **ブルーバナナ**<br>（青いバナナ） | ・**イギリス南部～オランダ～ドイツ西部～フランス東部～イタリア北部**。<br>・ヨーロッパにおける産業の中枢軸。各種工業や**先端技術産業**，**金融業**などの商業活動も活発である。 |
| **ヨーロッパのサンベルト** | ・スペイン中部～フランス南部～イタリア中部にかけての地中海沿岸地域。<br>・**労働集約型工業**のほか，**知識集約型産業**が集積する。 |
| 〔　　　　　　　　〕<br>（第三のイタリア） | ・イタリア北部では熟練した職人の伝統的な技術を活かす高級品（**衣服**，**皮革製品**，**装飾品**など）の製造が盛んである。<br>・中小企業のネットワークによって，専門的な製造工程が有機的に結びついている。 |
| 東ヨーロッパ諸国 | ・ポーランド，チェコなど，賃金水準の低いかつての**社会主義諸国**に，多くの**工場**が進出。<br>・西ヨーロッパや東アジアの企業による〔　　　　　〕**工場**や**電気機械工場**など。 |

**まとめ**

輸入石油の重要性が増したことや，地域における資源の減少などにより，工業地域は輸入に便利な臨海部に移動した。
西ヨーロッパでは脱工業化が進展，東ヨーロッパには多数の工場が進出し製造を担う。

# 第17講　PART 2　確認問題

**1**　三圃式農業について述べた以下の文のうち，正しいものはどれか。

① 夏季の乾燥気候に適し，古代の地中海沿岸で始まった。
② 中世に見られた農法で，耕地を三分割することに特徴がある。
③ 近代に入って二圃式農業へと発展した。
④ 現代では，寒さの厳しい北ヨーロッパなどで広く見られる。

**2**　ヨーロッパの商業的農業について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 酪農は，北海沿岸を中心としたヨーロッパ北部などで発達している。
② 混合農業は，フランスやドイツなどヨーロッパ中央部で見られる。
③ ヨーロッパの混合農業地帯では，穀物の連作と豚の飼育などが見られる。
④ 地中海式農業では，ブドウやオリーブなどの樹木栽培が行われる。

**3**　ポルダーと呼ばれる干拓地を利用した，酪農が盛んな国はどこか。

① オランダ　　② デンマーク
③ ベルギー　　④ ポルトガル

**4**　ヨーロッパの共通農業政策について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 域内農業の保護などを目的に，域内の関税撤廃と共同市場の運営を目指した。
② 食料自給率は上がったが，特に大豆の生産が過剰傾向となった。
③ 買い支えるための農業関連支出が増大し，EU の財政を圧迫した。
④ 現在は農家に個別に補助金を支払う制度に転換されている。

**5** ヨーロッパの工業のあゆみについて述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 18世紀後半の産業革命時に，ロンドンで綿織物の大量生産が始まった。
② 第二次世界大戦後に発展した重工業三角地帯の一角は，ドイツのルール地方である。
③ 1970年代になり，フランスではダンケルクに鉄鋼生産の中心が移動した。
④ ユーロポートが建設されたロッテルダムでは，石油化学コンビナートが発達した。

**6** 1970年代に大規模な製鉄所が整備されたイタリア南部の都市はどこか。

① ジェノヴァ　② トリノ
③ タラント　④ フィレンツェ

**7** ブルーバナナに**含まれない地域**はどこか。

① イギリス南部　② イタリア北部
③ オランダ　④ スペイン

**8** ヨーロッパの産業について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 各国でつくられた部品がトゥールーズへ送られ，共同工場で航空機が組み立てられる。
② 現在，ルール地方には，鉄鋼業に代わって先端技術産業の研究施設が集積している。
③ ヨーロッパのサンベルトは，スペインからイタリアにかけての地中海沿岸をいう。
④ サードイタリーでは，近年，自動車工業や電気機械工業の発達が顕著である。

# 第 17 講　PART 2　確認問題 解答

**1** 解答：②　耕地を夏作地，冬作地，休閑地に三分割した**三圃式農業**は，**中世ヨーロッパ**で見られた農法である。

**2** 解答：③　ヨーロッパの混合農業地帯では穀物は連作ではなく，**輪作**で栽培されている。

**3** 解答：①　**オランダ**の干拓地を**ポルダー**という。ポルダーでは，牧草栽培を行い，**酪農**が盛ん。

**4** 解答：②　共通農業政策によって特に生産が過剰傾向になった農作物は，**小麦**や乳製品である。EU の買い支え量が増え，財政を圧迫することになった。

**5** 解答：①　イギリス産業革命時の綿織物生産の中心都市は，**マンチェスター**。

**6** 解答：③　イタリアでは南部の経済発展を目的に，1970 年代に南部の都市・**タラント**に大規模な**製鉄所**が整備された。

**7** 解答：④　**ブルーバナナ**はヨーロッパにおける産業の中枢軸をいい，**イギリス南部**～**オランダ**～**ドイツ西部**～**フランス東部**～**イタリア北部**と続き，**スペイン**は含まれない。

**8** 解答：④　イタリアの**サードイタリー**では熟練した職人の伝統的な技術を活かす**衣服**，**装飾品**などの**高級品の製造**が盛ん。中小企業のネットワークで専門的な製造工程が有機的に結びついている。